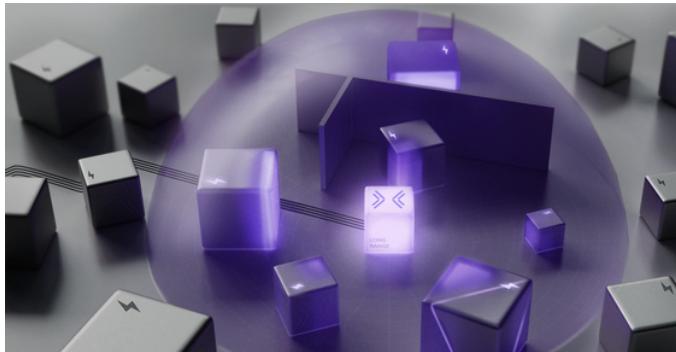


キャパシティブ方式 非接触電力伝送技術

AWL-Electricity は、競合技術の限界を克服する独自のワイヤレス電力ソリューションを開発しました。同社の発見により、この技術は安全かつ効率的であり、金属を含む材料を介して最大 1.5 メートルの伝送が可能になりました。従来のワイヤレス給電技術が抱える課題を解決し、様々な産業に革新をもたらす革新的な技術です。



Long Range

- 1:N の送信が可能
- 配置に依存しない
- 材質を通して転送可能



High Power

- 1:1 構成
- 位置ずれに対する高い許容範囲
- 動的充電

- 1つの送信機で複数のデバイスに対応
- 最大1.5mの空間に電力送信
- 高い全体効率（85%以上）
- 40ワットの電力供給 / バッテリー充電
- 物体、壁、金属を通して動作可能
- 360°どの向きでも給電可能

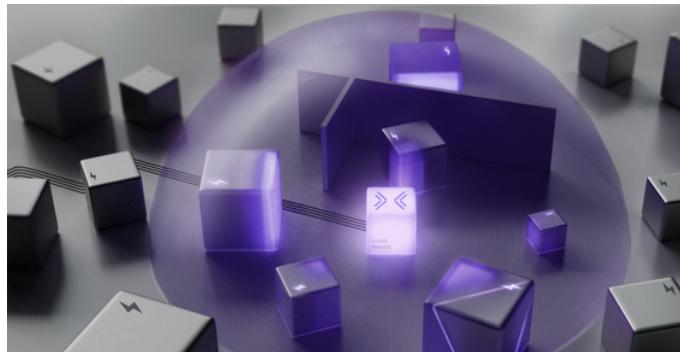


キャパシティブ方式 非接触電力伝送技術

AWL-Electricity は、競合技術の限界を克服する独自のワイヤレス電力ソリューションを開発しました。同社の発見により、この技術は安全かつ効率的であり、金属を含む材料を介して最大 1.5 メートルの伝送が可能になりました。従来のワイヤレス給電技術が抱える課題を解決し、様々な産業に革新をもたらす革新的な技術です。

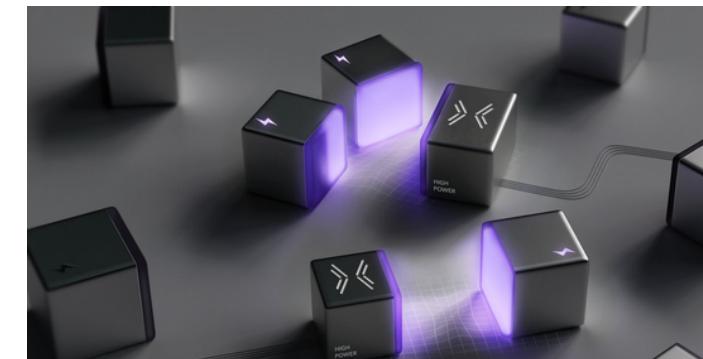
Long Range

- 1:N の送信が可能
- 配置に依存しない
- 材質を通して転送可能



High Power

- 1:1 or 1:2 の送信が可能
- 位置ずれに対する高い許容範囲
- 動的充電



キャパシティブ方式 非接触電力伝送技術

従来技術の課題

電磁誘導方式

- 不可避な渦電流による金属の発熱
- 送信距離が非常に短い
- 送信側と受信側の位置ずれの影響が大きい

電磁波方式

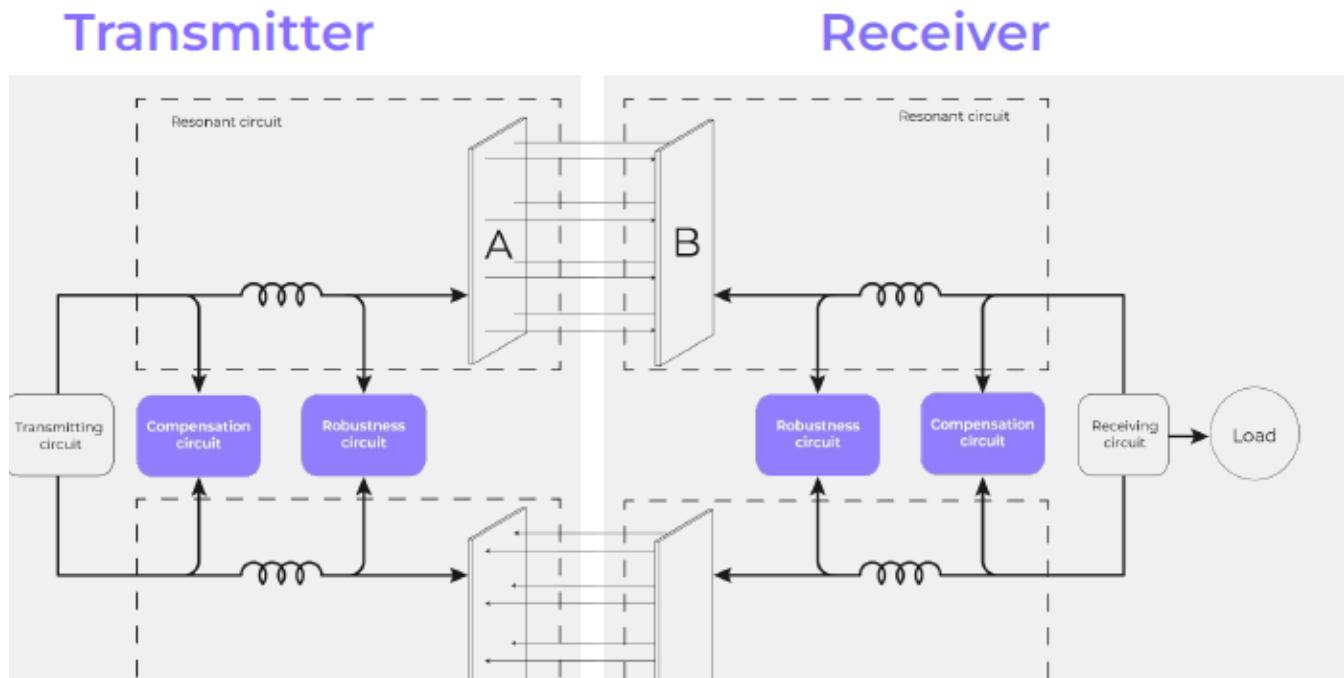
- 周波数により気象の影響を受ける
- 回路規模が大きくなる傾向がある
- 効率が他の方式に比べ極端に低い
- 電波の人体に対する影響の懸念



キャパシティブ電力伝送

- 発熱なし
- 長距離対応
- 低コストなハードウェア

- 使用の認証可能
- 人体に安全な周波数帯域

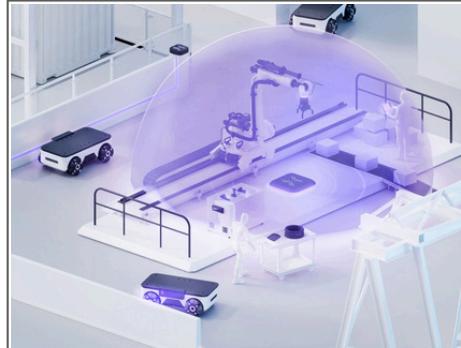




ビジネスモデル

AWL-E は、自社の技術をお客様の製品ラインに統合することを提案します。まずは完全に機能するデモから始め、業界特有のフォーム ファクター、コスト、認証要件が満たされるまで開発を進めます。

Infineon Technologies、Toyota Mobility Foundation、三菱電機、Forvia などとのパートナーシップを通じて、自社の技術が次のことを実行できることを実証しました。



動的なロボット充電/電源供給
ファクトリオートメーション



完全にワイヤレスなエコシステム、 真の空間の自由
コンシューマエレクトロニクス



ケーブルハーネスの複雑さと
コストを削減
オートモーティブ

実績

- Infineon Technologies がワイヤレス電力の未来として AWL-E を紹介: [リンク](#)
- 三菱電機向けに開発されたワイヤレスディスプレイと産業用コントローラ: [リンク](#)
- 三菱電機のロボット群をワイヤレスダイナミック充電でアップグレード: [リンク](#)
- AWL-E の主力製品である Agile Station がパリ パラリンピックで紹介されました: [リンク1](#), [リンク2](#), [リンク3](#)
- Forvia 向けに構築された機密の車内自動車ユースケース PoC